

高齢者と地域のために はたらくナース

第4号
2026年2月
発行

看護職の機能Ⅱ通信

看護師職能委員会Ⅱは、地域に密着し在宅における生活支援に視点をおき、基礎疾患と付き合いながら生活を支援する看護実践の場である 高齢者施設、診療所、訪問看護等に勤務する看護職の委員会です。今年度は「医療、介護・福祉施設・在宅領域で働く看護職の抱える問題の把握に努めるとともに、ケアの質向上につながる活動及び支援を行う。」を目標に活動してまいりました。今年度の事業報告と関連情報をご紹介します。

令和7年度 介護施設等で働く看護職の集い

10月15日（水）13：30～15：30 （ハイブリッド開催）

「高齢者のスキンケアについて」

講師：医療法人社団たにむらクリニック
皮膚・排泄ケア特定認定看護師 及川香奈恵 先生



講演では、高齢者のスキンケアや皮膚トラブル予防の大切さ、実践的な知識・技術の習得について改めて学ぶ機会となりました。今回は例年を上回り参加していただき、介護施設で働く看護師の高齢者へのスキンケアに対する関心の高さを感じました。また、施設で働く看護師同士がつながる貴重な機会ともなりました。

来年度のテーマは 「在宅看取りについて」

令和8年10月15日（木）午後 ハイブリッド開催予定

情辞慰是共

～日本看護協会HPより～

介護施設・事業所等で働く方々への 身体拘束廃止・防止の手引き

この手引きは平成13年に、主に介護施設向けに作成された「身体拘束ゼロへの手引き」が見直され、令和7年3月に厚労省より公表されたものです。現在、高齢者の尊厳を損なう不当な身体拘束をゼロにする取り組みは、介護分野だけでなく医療・福祉分野にも普及しています。また、介護施設のみならず、在宅においても身体拘束が行われている例があります。このような現状を踏まえ、新たな手引きには高齢者の「尊厳の保持」と「自立支援」の重要性や家族支援についても書き加えられているとともに、様々な場面においての事例も盛り込まれています。高齢者の介護に関わる方々の参考となる内容です。ぜひご参照・ご活用ください。

日本看護協会HPはコチラから



（公社）岩手県看護協会 令和7年度 看護師職能委員会Ⅱ

担当理事：富山 香

委員長：伊藤 江利子（所属：松園病院 介護医療院）

副委員長：畠山 美由紀（所属：盛岡南病院）

委員：大澤 真子（所属：鶯宿温泉病院）

委員：佐々木 理絵（所属：孝仁病院 訪問看護STこうじん）

委員：右京 与志子（所属：ケアホームやすみ）

委員：岡本 明美（所属：介護療養型老人保健施設 圭友）